

中小企業ぐんま

組合資料収集加工事業
通常総会終了後の諸手続きのポイント
県内中小企業(製造業)景況動向調査結果
平成29年度群馬県当初予算

VOL.667
2017.

5



- 通常総会
5月31日(水)
15時30分～
前橋商工会議所会館
- 若手社員リフレッシュ研修
9月1日(金)、4日(月)
前橋商工会議所会館
- 中堅リーダー研修
10月18日(水)～20日(金)
ホテル天坊
- 全国大会
10月26日(木)
長野県松本文化会館

中央会 FLASH..... 2

- ・官公需問題懇談会
- ・情報連絡員全体会議

特集Ⅰ 組合資料収集加工事業..... 4

特集Ⅱ 通常総会終了後の諸手続きのポイント 6

特集Ⅲ 県内中小企業（製造業）景況動向調査結果 8

特集Ⅳ 平成29年度群馬県当初予算 10

会員組合インタビュー 12

- ・群馬県自動車車体整備(協)
- ・群馬県素材生産流通(協)
- ・前橋旅館ホテル(協)
- ・(企) S. R. D

LAN Local Area News 14

- ・高崎市ガス事業(協)
- ・伊勢崎市浄化槽清掃事業(協)
- ・高崎電気工事(協)

情報連絡員だより 15

インフォメーション 16

めいど in 群馬

～ぐんまシルクのボディタオル～

今回は、ボディタオルを製造する有限会社ミヤマ全織のシルク商品をご紹介します。糸づくり職人達が、生地の切れ端で手に付いた機械油の汚れを落とすのを見て、初代社長が入浴用の「アカスリ」を考案。このアイデア商品の誕生を機に、昭和30年、同社は産声をあげた。

20年程前、現社長の長竹敏次氏が群馬県産シルクに着目。加工が難しいシルクを使った製品開発に挑戦し、ぐんまシルク製のボディタオルが誕生した。同商品は、ボディケア商品として人気を得、ふっくらした質感でボリューム感のあるタイプのものや、保湿効果のあるセリシンたっぷりのものなどアイテム数を増やし、その後、手袋、靴下、ネックウォーマー、マフラーへと商品の幅を広げている。シルクは、人の肌に非常に似ており、これからの時期、人にとっても紫外線予防の強い味方となる。

自ら育てた「ぐんま200」の繭



〈表紙の写真〉

同社のシルク商品には、「ぐんま200」という群馬県オリジナル蚕品種のみを使用していることも特徴のひとつ。統一品種を使うことで品質の安定性にもつながっている。

さらに、同社は新しい取組として、養蚕業へ参入を始めた。そこには、養蚕が盛んだった群馬県の歴史を絶やしたくないという思いが込められている。

群馬県とシルクとの歴史は古く、深い。加工技術の進化で、様々なシルク商品が誕生しているが、その原動力には、心に宿るシルクに対する愛があるに違いない。

有限会社ミヤマ全織(桐生ものづくり(協)所属)
みどり市笠懸町西鹿田552-1 ☎0277-76-3615